

令和6年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 図書館

1. 基本情報

1503

施設名	伊丹市立図書館神津分館			
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。			
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：育ち・学び・共生社会 施策：生涯学習・スポーツ 実施施策：図書館サービスの充実			
指定管理者の名称	特定非営利活動法人わくわくステーション神津 (団体の住所又は所在地) 伊丹市森本1丁目8番地22			
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数・貸出冊数 (単位：人・冊)		
	指標の意味	年間の来館者数・延べ貸出冊数		
	今年度の目標値	45,000人・37,000冊	今年度の実績値	47,537人・37,343冊

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	R2	R3	R4	R5	R6(上期)	R6(通期)
	来館者数(人)	-	44,502	48,822	47,193	47,237	24,874	47,537
	講座開催回数(回)	-	27	31	55	74	38	73
	講座参加者数(人)	-	499	624	1,143	1,729	908	1,664
	貸出冊数	-	34,861	38,080	36,479	37,376	19,564	37,343

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

	区分	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	3ヵ年平均
収入	使用料収入	0	0	0	0
	事業収入	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	指定管理委託料	9,874	9,890	11,866	10,543
	①合計	9,874	9,890	11,866	10,543
支出	維持管理				
	光熱水費	310	237	291	279
	清掃等委託料	0	0	0	0
	土地建物賃料	0	0	0	0
	修繕料	0	0	121	40
	運営				
	人件費	8,121	8,493	9,574	8,729
	事業等経費	161	260	528	316
	その他	0	0	0	0
	指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	8,592	8,990	10,514	9,365
純収支(①-②)		1,282	900	1,352	1,178

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>		R元	R2	R3	R4	R5	R6
	市の収入	-	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)	-	0	0	0	0	0
	市の支出	9,849	9,831	9,885	9,874	9,890	11,866
	(内、指定管理委託料)	9,849	9,831	9,885	9,874	9,890	11,866
実質経費(歳出-歳入)		9,849	9,831	9,885	9,874	9,890	11,866

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		評価結果			
		指定管理者自己評価		施設担当課評価	
		評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的の実施し、常に清潔に保たれているか。	B	館内の清掃は職員が実施しており、常に清潔を保つよう努めている。修繕が必要な事態が発生した場合は市と協議の上対応している。	職員自らが館内を清掃しており、館内は清潔に保たれている。利用者が快適に過ごせるよう施設の維持管理に取り組んでいる。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	防火管理者等有資格の職員は適正に配置しており、研修も必要に応じ適宜行っている。	仕様書に基づき職員は適切に配置されている。研修にも参加し人材育成に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	神津交流センターの防災マニュアルに沿って、消防訓練・避難訓練を年2回を実施している。	協定書・仕様書に基づき適正に行っている。
		避難訓練を実施しているか。	B		
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	アンケート調査や日々の業務で得られた利用者からの意見や要望等に対しては適宜対応している。今後の事業にも活かせるよう取り組んでいく。	HPにマスコットキャラクターを活用するなど、サービスの認知度向上に役立てている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	利用者に満足いただけるサービスの提供に努めている。	利用者の増加にむけた取り組みを行っている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報の管理は適切に行っている。また、広報誌以外にも情報提供をホームページ等で積極的に行っている。	協定書・仕様書に基づき、個人情報保護するための対策が適切に実施されている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	収支計画・経理処理は適切に管理運営している。	収支計画に基づき、適正に管理運営している。
		経理処理は、適切に行っているか。	A		

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	神津地域の住民が愛着を持てるようなマスコットキャラクターを制作し、神津分館のPR、好感度アップ、イベントの活性化等に努めている。また、長年にわたり地域の小学校1年生を対象とした図書館見学を積極的に受け入れている。これからも地域とつながる魅力ある図書館づくりを進めてほしい。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応 【実施期間】令和 7年 3月11日～令和 7年 3月 25日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	職員の接遇態度やイベントには満足いただいている。 他の項目でも不満はほとんどなかった。 要望としては、蔵書の充実とイベントに関するものが多かった。	今後も利用者に満足していただける接遇を心がける。 イベントは参加者に定着してきているように思われるので、さらに魅力のあるイベントを計画していく。
回答者数		
50		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置